

銀嶺荘

札幌市の南西のはずれに位置する標高九〇六メートルの春香山は、夏はファミリーがハイキングで、冬は山スキーを楽しむ登山者が多く訪れるところ。その山頂近くにある銀嶺荘は春香山を訪れる人たちに温かく迎えてくれる木造三階建ての山小屋です。電気も水道もガスもない生活の中には現代人が忘れていた「自然に抱かれる」喜びがあります。



温かみを感じるランプの明かりの下、思い思いにテーブルを囲み、下界の文明社会と一線を画した、心の底から癒されるひとときだ。



毎週のようにやってくる主婦で構成された地元の登山グループ。「山小屋があるから、管理人さんがいるから」来るのだという。



山小屋の傍らには大学が設置した雨水採取器がある。採取された雨水は北海道東海大学工学部の学生たちの研究論文用データとして、管理人によって週に一度大学に届けられている。



銀嶺荘を訪れた人はすべて管理人自らが写真を撮り、アルバムに収められる。閲覧自由のアルバムはすでに66冊を超えた。



管理人の竹本勝さん。かつては北アルプス、キリマンジャロなどに登った山のエキスパート。「銀嶺荘は山小屋の楽しさを感じる存分満喫できる場所。今この最高の環境の中で管理人としていられることに感謝しています。私が死んだらこの山に私の灰をまいて欲しいくらいですね」と語る。北海道の山は全域インフォメーションできる。



▲JR銭函駅から歩いて数分の所には美しい砂浜が広がる海水浴場がある。登山と海水浴の両方を1日で体験することもできる。



▲四季折々に美しい表情を見せる朝里ダム。ダムの周辺にはきれいに整備された散策路や展望台、ダム博物館などがある。



▲小樽からクルマで15分ほどの毛無山展望台は小樽の街全体を見下ろせる穴場のビュースポット。特に夜景の美しさは特筆もの。

深い自然に囲まれた登山者のオアシスの存在

銀嶺荘は昭和初期からこの地で登山者の「山のオアシス」として利用されてきました。現在の建物は一九六〇年に建てられたもので、一九七四年からは北海道東海大学の管理の下に運営されています。銀嶺荘の大きな特徴は七〇〇メートルの低い位置の山小屋でありながら管理人が一年を通して常駐しているということ。これは全国でも珍しいことです。



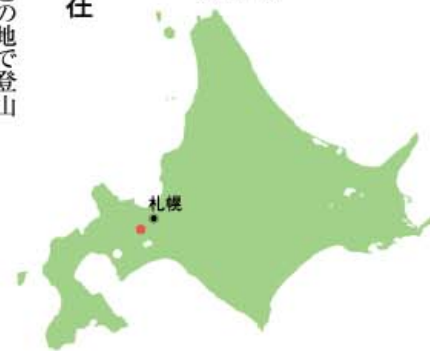
▲およそ2時間半の登山で見えてくる山小屋銀嶺荘。季節を問わず登山者を温かく迎えてくれる山のオアシス的な存在だ。

そしてストロップの上が吹き抜けになった三階にはそれぞれに二段ベッドを備えた寝室が四部屋用意されています。山小屋の周りはまさに自然の宝庫。野生のキツネやウサギ、エゾリスなどが姿を見せ、クマゲラが樹木をつつく音やフクロウの鳴き声も聞こえてきます。山小屋銀嶺荘での一夜は自然が本来持っている厳しさと優しさを教えてくれそうです。

周辺には温泉リゾートや小樽観光も自由自在

春香山登山の起点となるJR銭函駅は小樽と札幌のちょうど中間点に位置しています。JR銭函駅から小樽に向かつて二つ目の駅になる朝里駅からクルマで十分ほどの所にある朝里川温泉郷は、春は芝桜、夏はゴルフやテニス、秋は紅葉が美しく冬はスキーが楽しめるリゾート地。宿泊施設も充実しているリゾートホテルや昔ながらの温泉旅館などが建ち並んでいます。温泉からさらに南へクルマで五分ほどの所にある巨大なループ橋で知られる朝里ダムの美しい眺望も見逃せません。

朝里から、歴史ある港町として知られる「運河の街」小樽へは電車で約十分。小樽運河やガラス工場、海産物市場など観光スポットは目白押しです。中でも二〇〇一年六月にオープンした



〒061-2301 北海道札幌市南区 定山溪国有地 2385林班

●アクセス
■バス：桂岡登山口
札幌…小樽線 桂岡停留所下車 徒歩150分
一鉄工所前…銭函浄水場線
銭函浄水場前停留所下車 徒歩150分



▲炊事などに使われるわき水はなめらかな口当たり。この水で米を炊くとふっくら、つややかに炊き上がり、コーヒーはインスタントですら風味豊かになるのが不思議だ。



▲小樽運河地区の一角にある「小樽運河食堂」。古い巨大倉庫を改造した館内に全国から集まった有名ラーメン店が6店と、バイク方式でジンギスカンや地ビールなどが楽しめるビアホールがある。営業時間／11:00-0:00 料金／入場無料

「小樽運河食堂」は全国の有名ラーメン店が一堂に会した注目のグルメスポット。札幌から博多まで趣の違うラーメンを味わうことができます。

アクティブ派なら夏の春香山登山はもちろん、冬の銀嶺荘周辺での山スキーはぜひ体験して欲しいところ。銀嶺荘では冬期間の山スキーの無料貸し出しも行っています。山小屋の管理人である竹本さんがガイドをしてくれる山スキーは一度体験すると病みつきになってしまうという人が少なくないのだとか。うまく滑れてもそうでなくても、北海道独特のパウダースノーと戯れる喜びは他ではなかなか体験できるものではないかもしれません。一年を通して本当の北海道の自然を満喫できる山小屋体験をあなたもいかがですか。

【宿泊情報】
※最大宿泊人数50名

■宿泊料金	
宿泊 大人	800円
小学生以下	400円
休憩 大人	400円
小学生以下	200円
団体割引(10名以下1割引)	
(東海大学在学生、職員などは半額)	
■食事	
食材持ち込み、すべて自炊。	
(食器、調理器具、調味料、毛布、カセットコンロ(ボンベ持参)等の貸し出しあり(無料))	
●申込み先	
北海道東海大学札幌事務課	
☎011-571-5111(代)	